

新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動ガイドライン

道志村立道志中学校

1. 基本的な感染症対策の徹底

(1) 生徒の健康状態の把握

- ① 家庭と連携し、生徒の登校前の検温、体調等、「感染症対応健康記録カード」を活用し、毎日の健康観察を徹底する。
- ② 発熱等の風邪の症状がある場合は、登校しないことを徹底する。
- ③ 登校前に確認できなかった生徒は、保健室での検温及び風邪症状の確認を行う。
- ④ 発熱等の風邪症状が見られる場合は、生徒を安全に帰宅させる。

(2) マスク着用

- ① 学校生活において基本的に常時マスクを着用する。
※ 体育等の活動では、身体的距離を確保し、マスクを着用しない。
※ 気温が高い時期には、熱中症等を予防した対応をとる。

(3) 咳エチケット……口・鼻を覆う。

(4) うがい・手洗い…ハンドソープによる手洗いの徹底。

- ※ 外から教室に入る時、咳やくしゃみ・鼻をかんだ時、給食の前後、掃除の後、トイレの後、共有のものを触った時等、こまめに手洗いを行う。

(5) 3つの密（密閉・密集・密接）をしない。（新しい生活様式の指導の徹底）

- ① 「密閉」の回避のために、換気の徹底を図る。
- ② 「密集」の回避のために、身体的距離（1～2 m以上）の確保を図る。
- ③ 「密接」の回避のために、近距離での会話、大声に注意する。

2. 登下校（スクールバス）

- (1) 登校の際も密集を避け、身体的距離（1～2 m）を保つように指導する。
- (2) スクールバス乗車生徒は、マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- (3) 出来る限り座席が近くならないように配慮し、消毒・換気を行う。
- (4) 登校時のバスから降車時及び下校時のバス乗車前に、アルコール消毒液で手指の消毒をする
- (5) 帰宅後、うがい手洗いを徹底するように指導する。

3. 教室環境づくり

(1) 身体的距離の確保

- ① できる限り、座席の間隔をあける。（左右前後1～2 m以上開ける）
- ② 身体的距離（1～2 m以上）、手洗いの指導に留意し、工夫して教育活動を進める。

(2) 換気

- ① 可能な場合、常時窓を開ける。教室入口のドアも開ける。
- ② 休み時間ごとに換気する（5～10分）、密閉空間にならないようにする。
※ エアコン使用時も換気を行う。

(3) 消毒

- ① 生徒の手がよく触れる箇所は、一日1回以上消毒液等でふき取りを行う。

4. 教育活動づくり（感染リスクが高い活動は、感染症対策を特に留意し、実施の検討を行う。）

(1) 生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループ学習や近距離で一斉に大声で話す活動

- ① 「理科における生徒同士が長時間、近距離で活動する実験や観察」やその他の教科のグループ

活動は、感染症対策を十分行った上で実施の検討を行う。

② 委員会活動等は、感染症対策を十分に行った上で実施の検討を行う。

(2) 「音楽科」における室内で生徒が近距離で行う合唱及び管楽器演奏

① 歌唱指導でマスクを取る場合、十分な間隔（1～2 m以上）をあける。

② リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器を演奏させる場合は、自分以外の楽器は使用しないように留意し、使用前には吹き口等を消毒する。

③ ピアノや琴等の楽器を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを行う。

(3) 「美術科」における共同制作等の表現や鑑賞の活動や「家庭科」における調理実習

① 「美術科における共同制作等の表現や鑑賞の活動」や「家庭科における生徒同士が近距離で活動する調理実習」は、感染症対策を十分に行った上で実施の検討を行う。

(4) 「体育科」における生徒が密集する運動や生徒同士が近距離で組み合ったり接触したりする運動

① マスクはとって活動する。近距離での会話や大声は避ける。

② 整列・集合時も2 m以上距離を保つ。

③ 3密（「密閉」「密集」「密接」）をつくらない教育活動をつくる。

※ 可能な限り屋外で活動する。（体育館で行う場合は、十分な換気を行う。）

④ できるだけ個人の教材教具を使用し、生徒同士の貸し借りはしない。

⑤ 器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の手洗いを行わせる。

⑥ 十分な準備運動を行う。

(5) 学園祭・学習発表会・修学旅行等生徒が密集して長時間活動する学校行事については感染症防止を最大限配慮した工夫を図る。

① 生徒の健康安全を考え3密を避けた活動内容に変更する。

② 集会等もICT機器を活用して行う。

5. 給食

(1) 全体的留意事項

① 食事の前後の手洗いを徹底する。

② 給食の配食を行う生徒の健康状態の把握、衛生的な服装や手指の確実な洗浄等、給食当番活動が可能であるか毎日点検する。

③ 給食の配膳前に配膳台や机の消毒を行う。

(2) 給食の時間の流れの留意事項

① 教室の換気を徹底する。

② 教室内の机は、出来る限り間隔をあける。

③ 給食配膳前に、配膳台や机を消毒液で消毒をする。

④ 飛沫は飛ばさないように会話は控える。

⑤ 給食の配膳や片付け、おかわりの際には、「密集」を避けるようにする。

⑥ 食べ終わった後は、マスクを着用する。

6. 部活動

(1) 可能な限り感染症対策を行った上で通常の活動を行う。

(2) 生徒のけが防止のため、十分な準備運動等を行う。

(3) 使用する用具等は、生徒間で不必要な使い回しをしない。

(4) 体育館では、換気や手洗い、消毒、短時間の利用、身体的距離の確保、少人数に留意して行う。

(5) 体調不良の生徒については、部活動へ参加を見合わせる。

(注) 道志村教育委員会「新型コロナウイルス感染予防対策について」の徹底